

情報連絡員報告総括表(令和7年7月期)
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	
食 料 品	醤油・味噌製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・令和7年度産加工用米について、昨年と比べて大幅に価格が上昇している。 ・猛暑による水不足が影響して、米の生産量が減少するのではと心配している。
	パン製造業	→	→	→	→	↓	↓	→	→	↓	・特になし。
	処理牛乳・乳飲料製造業	↗	↗	↗	→	→	→	↗	→	↓	・8月の値上げ前に需要が拡大し、売上が増加している。
織 維 工 業	ニット製造業	→	→	↗	→	→	→	→	→	↓	・米国関税政策の影響が懸念される。 ・中小企業の人手不足が深刻化している。 ・政治、経済を含め不透明な状況が続き、経営環境は厳しい状況が続くと予想される。
	絹人織織物業	↗	→	↗	→	→	→	→	→	→	・商品の売上の維持に苦慮している。 ・諸物価の高騰が止まらない。 ・天候不順によって農作物の生産が悪化し食料品の値上がりが予想されることから、織物商品への消費マインドが危惧される。
	綿・スフ織物業	↓	↓	→	→	↓	↓	→	↓	↓	・組合員企業1社が廃業し、受注量が劇的に減少している。 ・加工料金を一律2円値上げしている。 ・数名の退職者がいるため、人件費の減少が見込まれる。
木材・木製品	一般製材業	→	→	→	→	↓	→	→	→	→	・改正建築基準法施行による建築確認事務の遅れが影響し、新設住宅着工戸数の前年同月比は、3ヵ月連続で大幅に減少している。 ・新設住宅着工戸数の減少の影響は、建材メーカーを中心に木材関連事業者全体に広がり、経営を圧迫している。 ・ロシア材取扱事業者からは、半製品は安定的に入荷し価格も横ばいになっているが、客足は伸びず、住宅着工戸数も減少し需要が増える見込みはないとの声が寄せられている。 ・プレカット工場の稼働状況は、一部稼働率が順調な工場がある一方で、仕事量の確保に苦心している事業体も多い。 ・スギ素材価格は、ほぼ横ばいで推移している。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし

印 刷	印 刷 業	↖ → ↗ → → → → ↘	・総じて横ばい状況の中、組合の運営が今後厳しくなる案件が発生している。厳しい環境での組織の意義、役割の再度の啓蒙が必要である。 ・規模の縮減は、体制や財政面への影響が大きく、活動の縮小に繋がることから、事業活動や組織の再構築が必至となっている。
化 学・ゴム	医薬品製造業	→ → → → → → → →	・原料・燃料・人件費の上昇、人材不足等に対応するため、生産の効率化が図られているが、限界がある。
窯業・土石製品	生コンクリート 製 造 業	→ → → → → → → →	・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比106.2%と3ヵ月ぶりに前年実績を上回っている。
	コンクリート製品 製 造 業	↖ → ↗ → ↘ → ↘ ↘ ↘	・特になし。
	骨材・石工品等 製 造 業	→ → → → ↘ → → →	・骨材標準価格について、令和7年度は値上げしなかつたが、製造コストの上昇に歯止めがかかるない状況が続き、自助努力の限界を超えていることから、令和8年度は値上げを決定している。 ・骨材需要は、低調な状況が続いている。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
鉄鋼・金属	銑鉄鋳物業	↖	→	→	→	↖	↖	↖	→	↖	・引き続き、全般的に受注は低調である。 ・先行きの不透明感は依然として強い状況である。
	銅・同合金鋳物製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	アルミニウム製品製造業	↖	→	↗	→	↖	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・組合員企業においては、総じて生産、販売とも好調を維持している。 ・8月からの米国関税政策の影響について、注視しなければならない。貿易による直接的な影響はなくとも、為替、エネルギーコスト、原材料費、輸送費などの影響は見込んでおくべきである。 ・組合設立から50年余が経ち、インフラや社屋などが老朽化し、給電・給水設備など詳細なチェックを進めている。かなりの補修・更新費が必要になる見込みである。
	めっき加工業	↖	→	→	→	→	→	→	→	↖	・取引先からのめっき加工製品の持ち込みが増加傾向となり、売上高の前年同月比は増加している。 ・原材料価格は上昇しているため、収益状況にあまり変化はない。
一般機器	金属工作機械製造業	↗	↗	→	→	↗	→	→	↘	→	・受注状況及び売上ともに、前年同月と比べて増加している。 ・アメリカが中国に対して追加関税を再強化したこと、注文を日系企業へシフトする事案が発生してきている。また、円安の進行により、輸出価格競争が高まり、海外からの受注も増加している状況である。
	金属加工機械製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	非金属用金型製造業	↖	→	→	→	↖	→	↖	→	↖	・金型業界の事業所のおよそは中小規模で9割が従業員30名以下である。資金力が乏しく、永らく売上が減少している状況では、新規の融資も受けにくく、資金繰りは厳しい危険領域にある。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↗	↗	↗	→	↗	→	↗	↗	→	・電子部品の在庫過多解消が進んでおり、受注が上向きになってきている。 ・新規開発品の動きが、過去2年と比較すると活発化している。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・県外からの観光客が増えている。漆器製品に関心を持つてもらい、漆器業界の活性化に期待している。

業種		項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業		↖	→	→	→	→	→	→	→	→	・6月までは工事が順調に進み好調であったが、7月に入ると異常気象により工事の進捗が遅延ぎみで、発注も遅延ぎみである。
	非鉄金属製品卸売業		↖	↗	↗	↘	↘	↘	→	→	↘	・原材料など様々なコストが上がっている中で価格転嫁が進まず、収益の悪化が進んでいる。また、選挙が多く受注減という影響が出てきている。
小売業	鮮魚小売業		↖	→	↖	→	↖	→	→	→	↘	・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業		↗	→	↗	↘	↘	↘	→	→	↘	・特になし。
小売業	野菜・果実小売業		↖	→	→	→	→	→	→	→	→	・7月の富山卸売市場は、前年同月比で数量93%、単価94%、売上93%となっている。 ・組合員全体の売上については、前年同月比93%となっている。
	家庭用電気機械器具小売業		↗	→	↗	→	→	→	→	→	↗	・特になし。
小売業	自動車小売業		→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし。
	ガソリンステーション		↖	→	→	↘	↘	↘	→	→	↘	・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。
小売業	スポーツ用品小売業		↖	↖	→	→	↘	→	→	→	→	・特になし。
	ショッピングセンター		↗	→	↗	→	→	→	→	→	↘	・特になし。

項目		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
業種											
商 店 街	商 店 街	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・節約志向の継続と暑い日が続いていることで、商店街を歩く人は少なく、駐車場も余裕がみられ、買い回り品店や飲食店ともに来店客が少なくなっている。
	商 店 街	↖	↗	↗	→	↘	↘	→	→	↖	・物販、飲食とも前年同月より悪化している。猛暑が関係していると考えている。
サ ー ビ ス 業	情報サービス業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	クリーニング業	↗			→	→	→	→	→	↗	・特になし。
	飲 食 業	↘			↗	→	↘	→	→	↘	・7月中旬から昼の来店客が減少している。猛暑の影響と思われ、前年同月に比べて売上が4%減少している。
	建 築 設 計 業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	自動車整備業	→			→	→	→	→	→	→	・7月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、7ヵ月連続の前年越えとはならなかつたものの、堅調に推移している。 ・今年は東京ビックサイトで大きなイベントが予定されており、これに伴う新車購買意欲の向上に期待している。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。経営管理の精度を上げ、整備料金へ転嫁し、更に賃金にも反映させ雇用を確保し、安定経営につなげていく必要がある。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、最新技術や制度改正に対応することを求められ、更に、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、少しずつ経営が厳しくなっていく状況にある。
建 設 業	鉄骨・鉄筋工事業	↘			↘	→	↘	↘	→	↘	・大手鉄骨加工業者は、見積りが多少ではあるが増えており、受注単価も少しづつが上昇している。 ・中小鉄骨加工業者は、見積りも仕事量も相変わらず少なく、鋼材価格の弱含みもあって受注価格の安値が散見される。多くを占める地場中小物件が出てこないと過当競争が続くと懸念される。
	一般土木建築工事業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	管工事業	→			→	→	→	→	→	↘	・景況に変化はない。 ・高校新卒採用について、高校へ出向き業界の周知を行っている。 ・会員は、現場での熱中症対策に苦慮しながらも安全対策に取り組んでいる。
	電気工事業	→			↗	→	→	→	→	↗	・公共事業、民間設備投資は好調である。 ・建築基準法の改正で住宅着工件数が低調となり影響を受けていますが、酷暑によるエアコン工事で好況である。
運 輸 業	道 路 貨 物 業	→			→	→	→	→	→	→	・特になし。
	道 路 貨 物 業	→			→	→	→	→	→	→	・燃料価格について、前年同月と同じ単価となっている。 ・物量は、小口が前年同月比104.6%と伸びているが、貸切が74.3%と低迷している。